



外国人を含めた観光客が楽しめる観光地へ

「宮島を訪れる外国人は困らないか」という考えのもと昨年度からプロジェクトを進めてきました。実際に現地でも調査をする中で、様々な意見や見方があることに気が付き、何度も軌道修正しながら活動を行ってきました。今年度は、言語と観光の面から外国人観光客が宮島を楽しめるように「中江町」で模索しました。

昨年度の活動

■聞き取り調査



商店街を中心に約50店舗で聞き取り調査を実施。



過半数のお店が外国人への対応で何かしら困ることがあることが判明。

■言語表記の改善



ゲストハウス三國屋
宿泊客から家電の使い方の説明を求められることがあったが、その説明に割く時間が減少した。



石ころ館 宮島
英語表記で笑われてしまうこともあったが、安心して接客できるようになった。



宮島のおみやげ処 ふなつき
口頭での製品説明は難しかったが、外国人観光客にもスムーズに理解してもらえるように。

観光面

商店街や厳島神社以外の楽しめる場所の必要性を感じた

今年度の活動

■中江町（柳小路）



中江町への注目

宮島の活性化のために主要観光地以外の隠れた宮島の魅力の発見が必要と考え、重要伝統的建造物群保存地区にも指定された中江町（柳小路）に注目。

■ちゅうえマルシェへの準備と当日



テレビ、ラジオでの発信

中江町・イベントを盛り上げるために、テレビ、ラジオで情報発信をし、多くの人に周知することができた。

ドリンクの考案と販売

学生の視点で、中江町に「新しい風を吹かせよう」とドリンクを考案した。当日はこのほかにも書道体験や外国人アンケートも実施した。

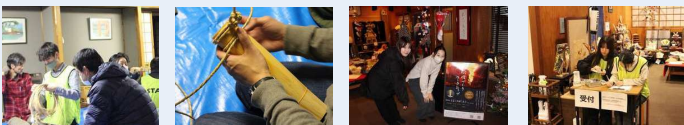
チラシ配り

■中江町ホームページでの情報発信



これまでの活動で、中江町を知ってもらうことはできたが、「情報が少ない」という課題があった。また持続的な取り組みにするためにも、やさしい日本語のブログページを作成した。

■松明づくりワークショップ



松明づくりワークショップ

ちゅうえマルシェ後には、中江町の観光は「量より質」なのではないかと発見したこともあり、宮島の伝統文化の体験型ワークショップの開催のお手伝いをした。

学生が作成したポスター

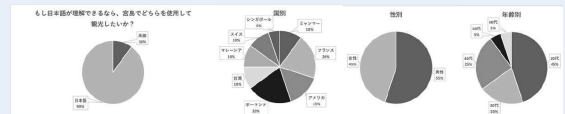
イベントの開催を多くの人に周知するため、ポスターを作成した。イベント当日は進行補助や松明作成をお手伝いした。

イベントの補佐

言語面

英語圏の方以外にどう伝えればいいか

■聞き取り調査・やさしい日本語への着目



宮島にいる外国人観光客に英語と日本語のどちらを使用し観光をしたいか調査したところ、9割の方が「日本語だ」と答えた。つまり、「やさしい日本語」を宮島に普及させることは、外国人観光客と地域のつながりを深めるツールになり、観光満足度の向上に貢献すると考えられる。

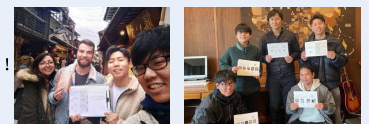
■店舗向けのフリーペーパー作成

「ゲストハウス 三國屋」様にご協力いただきフリーペーパーを作成した。観光に欠かせない状況を想定するだけでなく、日本語に特有の表現である「丁寧表現」に着目し、外国人観光客が興味を持ってもらえるように「やさしい日本語」で作成した。



■フリーペーパーを使ってもらって

- ・日本での観光時に使いたい。
- ・日本語で観光してみたかったのでうれしい！
- ・日本語を学びたい、より深く学びたい。



宮島 中江町公式
Instagram



宮島・中江町プロジェクト
公式ホームページ